

学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

学校だより 1月号

令和6年 1月 9日

校長 大越 敏孝



『強い絆と努力で新しい未来へ』 ～令和5年度後期後半開始～



令和6（2024）年が始まりました。今年の干支は「辰」。十二支はもともと植物の循環の様子を表しているそうです。種子から芽が出て、大きく育ち、やがて花が咲き、実がなり新しい種子ができるという循環の中で、十二支の5番目の「辰」の文字には、「草木の莖や葉がよく育ち、形が整った状態」の意味があるそうです。

芽を出した植物が成長していき、莖や葉が大きくなり形も整う時期を表す辰年。十二支の中では唯一の架空の生き物である辰。特に今年は「甲辰（きのえたつ）」なので、形が整うだけでなく、植物がさらにその勢いを増して大きくなる年といわれています。子どもたちには、今までの学びを糧として、自分の夢や目標に向かって大いに取り組んで、達成感を味わえる飛躍の年にしてほしいと思います。そして、汐見台小学校としても、今までの歩みを大切にしながら、児童も教職員も一人ひとりが強い絆を結び、互いに力を尽くしながら、新しい未来へ向かってさらに新しい歴史を創っていきたいと思います。

さて、新型コロナウイルス感染症もやっと落ち着きを見せ、日常がもどってきたと感じられるようになってきた年末年始。元日に発生した能登半島地震で大きな被害がでています。被災地では未だ大きな余震が続いており、被害がさらに拡大しないことを祈るばかりです。亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げますとともに、被害に遭われたすべての皆様にお見舞いを申し上げます。東日本大震災が起きたのは汐見台小学校が開校する直前の2011年3月11日でした。創立記念行事を昨年終えたところでの大地震に、あの当時のことを振り返りながら心が痛みます。

1995年1月17日に起きた阪神・淡路大震災で被災した教頭には、「後期後半はじめの会」でその経験を話してもらいました。テレビやネットで衝撃的な映像が流れる中、恐怖感をあおるのではなく、自分の命を守るために大切なことを児童に伝えました。教職員も改めて災害発生時の対応について確認しています。津波に対する避難計画も茅ヶ崎市のハザードマップを基に万全を期しているところです。学校だより9月号でもお伝えしましたが、県立茅ヶ崎支援学校とは今年度から防災パートナーシップ協定を結んでおり、支援学校のスクールバスが近隣を走行している際に発災した場合の避難場所として汐見台小学校が指定されています。災害時の対応については、互いに連携を始めており、今後はさらに防災計画についてもよりよいものにするため改善を進めていきます。

今年は暖かな日が多い冬休みでした。元日は、青空が広がる穏やかな陽気の中で初日の出を拝みました。この一年が災害や事故がなく平穏で、皆様にとって素晴らしい年でありますようにお祈り申し上げます。保護者・地域の皆様には、引き続き本校の教育活動にご理解とご協力をいただけますよう、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

茅ヶ崎・寒川地区『児童の演劇交流会』12月26日(火)

冬季休業中、「児童の演劇交流会」が茅ヶ崎市民文化会館小ホールで開催されました。茅ヶ崎寒川地区小学校の4校7団体が参加しました。汐見台小学校からは、「演劇クラブ」「ダンスクラブ」「仲よし級」が、今までの練習の成果を舞台上で披露し、交流を深めました。



ダンスクラブ 『SET ME FREE』



演劇クラブ
『白雪姫？ものがたり☆希望編☆』



仲よし級 『でんせつつのコンビニ』